

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成24年7月26日(2012.7.26)

【公表番号】特表2010-533510(P2010-533510A)

【公表日】平成22年10月28日(2010.10.28)

【年通号数】公開・登録公報2010-043

【出願番号】特願2010-516215(P2010-516215)

【国際特許分類】

A 6 1 B 17/22 (2006.01)

【F I】

A 6 1 B 17/22

【手続補正書】

【提出日】平成24年5月29日(2012.5.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

管腔閉塞機器であって、

近位端および遠位端を有する引張部材と、

該引張部材を収容するための少なくとも自身の遠位部分に沿うガイド構造を有する細長いシャフトであって、該シャフトに対して遠位に延出した位置と近位に後退した位置との間を該引張部材が移行することを可能にする、細長いシャフトと、

該引張部材の遠位部分を収容するための軸方向収容部を有する平坦フィルムであって、該フィルムの遠位端は、該引張部材上の遠位位置に取り付けられ、該フィルムの近位端は、該細長いシャフトの遠位端に取り付けられる、平坦フィルムと

を備え、

該引張部材を該シャフトに対して近位に平行移動させることは、該平坦フィルムを圧縮させ、該引張部材を該シャフトに対して遠位に平行移動させることは、該フィルムを伸張させる、機器。

【請求項 2】

前記平坦フィルムは、2 mm から 15 mm までの範囲の距離だけ離間した平行な軸方向縁を有し、10 mm から 100 mm までの範囲の軸方向長さを有する、請求項 1 に記載の機器。

【請求項 3】

圧縮する前に、前記平坦フィルムは、全厚さが 0.1 mm から 0.5 mm までの範囲のポリマーシート構造を備える、請求項 1 または 2 に記載の機器。

【請求項 4】

前記平坦フィルムは、自身の表面上に形成される少なくとも 1 つの X 線不透過性マーカを備え、通常は少なくとも 2 つの X 線不透過性マーカを備え、該 X 線不透過性マーカは、前記軸方向収容部の各側面に 1 つずつ配置される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の機器。

【請求項 5】

複数の別個のマーカが、前記軸方向収容部の各側面に配置されている、請求項 4 に記載の機器。

【請求項 6】

前記平坦フィルムは、前記軸方向収容部の一方の側面における第１の翼部分と、該軸方向収容部の他方の側面における第２の翼部分とを含み、第１のＸ線不透過性の細長い要素が、該第１の翼部の外縁に沿って配置され、第２のＸ線不透過性の細長い要素が、該第２の翼部の外縁に沿って配置される、請求項１～５のいずれかに記載の機器。

【請求項７】

前記第１および第２の細長い要素は、前記軸方向収容部から半径方向外側に前記平坦フィルムを偏向させる、請求項６に記載の機器。

【請求項８】

前記第１および第２の細長い要素は、前記引張部材が近位に平行移動させられるにつれて、螺旋状構成を帯びる、請求項７に記載の機器。

【請求項９】

前記平坦フィルムは、前記第１の翼部分と整列しているが、それから近位に離間している第３の翼部分と、前記第２の翼部分に整列しているが、それから近位に離間している第４の翼部分とを含み、該第１の細長い要素は、該第１および第３の翼部分の前記外縁に沿って連続的に配置され、該第２の細長い要素は、該第２および第４の翼部分の前記外縁に沿って連続的に配置され、該第１および第２の細長い部材は、前記引張部材が近位に平行移動させられるにつれて、２つの軸方向に離間した螺旋状構成を帯びる、請求項６～８のいずれかに記載の機器。

【請求項１０】

前記引張部材の前記遠位端から遠位に延出する遠位先端部をさらに備え、該遠位先端部は、前記遠位方向にテーパ状に小さくなるポリマー管を備える、請求項１～９のいずれかに記載の機器。

【請求項１１】

前記ポリマー管は、デュロメータが２５Ｄから５５Ｄまでの範囲のポリウレタンを備える、請求項１～１０のいずれかに記載の機器。

【請求項１２】

前記引張部材は、中実コアワイヤを備え、該ワイヤは、０．２ｍｍから０．６ｍｍまでの範囲の幅を有している、請求項１～１１のいずれかに記載の機器。

【請求項１３】

前記細長いシャフトは、外側幅が０．５ｍｍから１．５ｍｍまでの範囲であり、かつ長さが５０ｃｍから２５０ｃｍまでの範囲であるポリマー管を備え、該ポリマー管は、デュロメータが５０Ｄから８０Ｄまでの範囲であるポリエーテルブロックアミドを備える、請求項１～１２のいずれかに記載の機器。

【請求項１４】

前記細長いシャフトの前記近位端のハンドルアセンブリと、前記引張部材の前記近位端の把持部とをさらに備え、前記ハンドルは、該シャフトの該近位端に取り外し可能に取り付けられ、該把持部は、該引張部材が該シャフトに対して十分に遠位に配置される際に、該ハンドルによって被覆可能である、請求項１～１３のいずれかに記載の機器。

【請求項１５】

前記引張部材の前記近位端付近に移動止めをさらに備え、該移動止めは、前記フィルムの配置のために該引張部材を近位に収縮させる際に拡張し、該拡張した移動止めは、配置後に、該引張部材の故意でない遠位移動を阻止し、該移動止めは、好ましくは、該引張部材における１つ以上の湾曲部を備える、請求項１～１４のいずれかに記載の機器。